

東雅夫氏講演会

怪奇幻想文学と想像力

いま人類は、かつてない危機に直面しています。新型コロナ・ウイルスによるパンデミックという未曾有の脅威と恐怖です。パンデミックの恐怖を、かつて人類は繰り返かえし、優れた怪奇幻想文学に描いてきました。また昨年注目を集めた妖怪「アマビエ」は、その優れた現実的予兆であったとも申せましょう。個々の人間は無力ですが、しかし想像力という無類の武器があります。この武器を駆使して、我々は古来、さまざまな脅威に立ち向かってきたのです。今回もまた、怪奇幻想文学の母胎である「大いなる想像力」が、この未知との闘いに勝利を収めることを、私は確信しております。

ひがし まさお

東雅夫 アンソロジスト

1958年神奈川県横須賀市生まれ。

1982年より雑誌「幻想文学」「幽」の編集長を創刊から終刊時まで歴任。その傍ら多くの単行本、アンソロジー企画により、世に埋もれた怪奇幻想文学の発掘に尽力する。

著書に日本推理作家協会賞を受賞した『遠野物語と怪談の時代』（角川選書）のほか『なぜ怪談は百年ごとに流行るのか』（学研新書）『百物語の怪談史』（角川ソフィア文庫）、編纂書に『文豪怪談傑作選』（ちくま文庫）『文豪怪奇コレクション』（双葉文庫）『文豪ノ怪談ジュニア・セレクション』（汐文社）ほか多数、絵本に『怪談えほん』（岩崎書店）などの各シリーズがある。



2021年

7月4日(日)

14:00～15:30 (13:30開場)

定員 60名 (事前申込順、定員に達し次第締切)

参加費 1000円

日比谷図書文化館

地下1階日比谷コンベンションホール (大ホール)

今後の新型コロナウイルス感染拡大状況により、変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

お申込み

ホームページのお申込みフォーム

電話 (03-3502-3340)

いずれかにて

- ①講座名
- ②お名前 (よみがな)
- ③電話番号

をご連絡ください。

小学生以下のお子様に参加される場合

保護者の同伴が必要です。

(同伴者の方にも参加費が必要です)

千代田区日比谷公園1-4 (日比谷公園内)

<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>

都営地下鉄●三田線「内幸町駅」

A7出口／徒歩3分

東京メトロ●丸ノ内線 ●日比谷線「霞ヶ関駅」

B2出口／徒歩3分

東京メトロ●千代田線「霞ヶ関駅」

C4出口／徒歩3分

JR「新橋駅」

日比谷口 (SL広場)／徒歩10分



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記の対策を実施していますのでご協力ください。

- ・ご入館時には手指の消毒、職員による検温、入館票のご記入(「貸出券番号」または「名前と電話番号」)をお願いします。
- ・館内では必ずマスクをご着用ください。
- ・会場定員は207名ですが、ソーシャルディスタンス確保のため定員を少なく設定し、募集を行います。